

目

次

序文 絵

監修のことば

例言

はじめに

第一章 服飾と暮らし

第一節 着物

着物の生地／普段着／国民服／標準服／よそゆき／晴れ着（礼服）／晴れ着（喪服）／袖の形／襟の形／掛襟／着物の着こなし／衣類の再利用／腰巻／襷／襦袢／帯／帯の種類と締め方／着つけの小物

一三九

第二節 羽織

羽織・被布・袴・足袋
羽織／茶羽織／絵羽織／被布／コート／半纏／袖無し／袴／足袋

二三

第三節 仕事着と旅支度

二七

仕事着／股引／フンゴミ／腹掛け／手甲／手袋／脚拘え／仕事場への持ち物／旅支度／旅の

第六節 持ち物

第四節 被り物と履き物 三一

第四節 手ぬぐい／笠／麦藁帽子・絹木の帽子／帽子／御高祖頭巾／草履／下駄／草鞋・地下足袋／靴／雨天などの時の履き物 三五

第五節 防寒具と雨具 三五

防寒具／雨具

第六節 寝具 三七

寝間着／布団／搔巻と毛布／敷布／枕／寝室

第七節 髪型 三九

普段の髪型／よそ行き／洗髪／床屋・髪結い／髪を結う小物と飾り

第八節 衣類の自給と保管 四一

紡糸／機織りの手順／織り方の種類／草木染／裁縫／洗濯／衣類の保存

第二章 食べものと暮らし

第一節 日常の食べもの 五六

一、主食 五六

米／現在の米の販売

二、主食を補うもの 五七

小麦粉／蕎麦粉／しいな米やもろこしの粉／種粉の残り

三、副食 六〇

山菜など／木の実や種実／魚介類／肉類／昆虫や独特の食べもの

四、 日常よく作った汁・煮物 七一

おかず／汁／煮物

五、 間食と子供のおやつ 七三

間食／子供のおやつ

第二節 特別の日の食べもの 七八

一、 特別の日に作られる餅・団子・強飯 七八

餅／団子／強飯

二、 暮から年始の食べもの 五八

冬至のかぼちゃ／年取りの料理／大正月の料理／小正月の料理

三、 祭りと食べもの 八八

御柱祭のご馳走

四、 改まつた時の食べ事と献立 九一

祝儀・不祝儀の料理／酒盛り

第三節 貯 藏

穀類の貯藏／越冬野菜の保存／乾燥させる／漬物にする／凍みらせる

第四節 酒 造

味噌づくり／醤油づくり

第五節 食 制

食事の回数／食事の呼び方／食事の場所／食事の作法／食い合わせ

第六節 供 物

神仏へ供える習慣／神への供物と処理／仏への供物と処理

一一六

第三章 住まいと暮らし

第一節 屋 敷

屋敷／屋敷地／好まれた場所とその変化／嫌われた場所とその変化／屋敷内の呼び名／自然水から上水道へ

第二節 母屋と附属建物

附属建物／母屋／茅葺き屋根／板葺き屋根／鉄板葺きトタン葺き／鉄平石葺き／スレートやセメント瓦／母屋の入り口と土間／土間からオエヘル／呼び名のある柱／便所

第三節 間 取り

間取りのいろいろ／座敷と居間／勝手／調理場／寝室／仏間と神棚の間

第四節 囲炉裏とかまど

囲炉裏／かまど

第五節 発火具・火具

発火具／火具

第六節 照明具・暖房具・寝具

照明具／暖房具／寝具

第七節 建築儀礼

普請／儀礼／祝儀／家移り

第八節 新しい住まい

一五六

住まいの変遷

第四章 なりわい

第一節 農業業

一、稻作

- (1) タブチ（田起こし）……………一六三
- (2) ネエマ（苗間）づくり……………一六四
- (3) 種粒／苗床作り／水苗代／保温折衷苗代／ビニール保温苗代／育苗箱の苗代……………一六七
- (4) 田植え……………一七四
- (5) 田植えの用意／苗取り／苗選び／田植え／ネエボコ様／植え直し／農休み……………一七七
- (6) 用水路／水見／田の草取り／除草機と除草剤……………一八五
- (7) 病虫害と風水害……………一八九
- (8) ドロムシとイモチ病／大洪水／ソメと雀おどし……………一九一
- 稻刈り／ハゼかけ……………一九二
- 稻こき……………一九三
- 積み込み／マンガ／稻こき機／動力脱穀機／糲や道具の運搬／藁の始末／コバシアゲとカカ……………一九四

シアゲ

(9)

臼ひき

一一〇

ウスヒキ／糲摺り機／米俵の縄のかけ方／供出米

(10)

米つき

一〇五

水車／精米／収穫祝い

(11)

藁仕事

一〇七

ワラスグリ／俵編み／旗折り／縄ない／藁草履

(12)

畑作

一一〇

前栽畑／畦や土手の作物／桑畑の野菜／転作畑

(13)

果樹栽培

一一一

家の周りのくだもの／塚作りから畠作りへ／土作りと施肥／病害虫の駆除／収穫と販売／うまいくだもの作りの推進／その他の果樹

(14)

養蚕

一一二

養蚕／桑の種類／桑もぎ（摘み）／はきたて／共同飼育／棚飼いと平飼い／ヒキひろい／繭

(15)

かき／繭の取れ高と出荷場所／真綿作り／糸とり
かき／繭の取れ高と出荷場所／真綿作り／糸とり
かき／繭の取れ高と出荷場所／真綿作り／糸とり

一一三

かき／繭の取れ高と出荷場所／真綿作り／糸とり
かき／繭の取れ高と出荷場所／真綿作り／糸とり
かき／繭の取れ高と出荷場所／真綿作り／糸とり

(16)

林業・狩猟

一一四

(17)

林業

一一四

(18)

山仕事

一一四

山林の管理と植林／農家の山仕事／たきつけ	(2) 専門業者による林業	二四六
測樹／伐採の準備／伐採と造材／運搬／伐採儀礼／コピキ／製材所の成立	(2) 炭焼き	二五三
バラ炭／カジ炭／堅炭／製炭者的生活／炭の販売者	(3) 炭焼き	二五六
下諏訪の狩猟環境	二、狩 猎	二六〇
文献に見られる狩猟環境／高島藩の鑑札／明治期の狩猟／狩猟法の変遷	(1) 下諏訪の狩猟環境	二六一
狩猟方法	(2) 鳥モチ猟／網猟／銃狩猟／その他の狩猟	二六二
鳥モチ猟／網猟／銃狩猟／その他の狩猟	(3) 獲物の皮・肉・角などの利用	二七四
うさぎ／くま／しか／その他	一、漁 業	二七六
諏訪湖の漁舟	二、漁 場	二七八
まるた舟／さんば舟／プラスチック船	三、漁 具	二八〇
スナマ／ヤワラミ／ドロマ／網干し場	漁具と漁法	二八一
昔の漁法／かぶせ網の漁法／定置仕掛けの漁法／曳き網の漁法／すくい網の漁法／引搔き網の漁法／その他の漁法	の漁法	二八二

第四、諫訪湖の魚介類

二九六

こい／ふな／なます／うなぎ／はや・うぐい／かまつか／もろこ／わかさぎ／ひがい／えび
／どじょう／しじみ／からす貝／つぶ／とうくろ

五、今後の諫訪湖漁業

三〇六

漁師の経験と知恵／養殖化へ

第四節 伝承技術を生かして

一、手 工

三〇七

手工製品／藁細工／竹細工／木工細工

二、特殊技術

三〇八

近代の産業化へ向けて／氷切り（採氷業）／瓦焼き

第五節 出し釜と国用製糸

三一三

出し釜と国用製糸／糸とり一筋に六〇年／製糸業の衰滅

第六節 諸 職

三一〇

石材石碑店／豆腐製造店／線香屋

第五章 宿場町から観光地へ

三一九

第一節 交 通

三二三

一、いろいろな道

三二三

(1) 古い道

三二三

鎌倉道／市道／古道

三二三

(2) 江戸時代の街道

三二四

中山道随一の難所／甲州道中の景観

(3) 現代の道

和田峠道の難所の解消／和田峠トンネルの掘削／国道二〇号線／湖畔線／新田中線

(4) マチ中の道

下諏訪宿内の道／三角八丁／友之町交差点／駅前広瀬町通り／御田町通り

(5) マチ周辺のムラの道

ムラとマチを結ぶ道／ムラウチの道／団地内の道

二、運搬の方法と用具

(1) 人の力で

背負う／担ぐ／引く・押す

(2) 牛馬の力で

背に載せて／牛に引かせて／運送

(3) 乗り物

人力車／自転車／乗合馬車／汽車／乗合バス／和田峠線の貸切自動車／トラック／帆掛け船

／自家用車

三、旅と宿泊施設

(1) 昔の旅

旅立ち／道橋の補修／立場茶屋／宿場内の家の造り／温泉宿場の賑わい／講と参拝客

(2) 近代の旅

下諏訪町の温泉旅館街／商人宿／湯治客の賑わい／下諏訪温泉を訪れた文豪

第一節 通 信

一、 伝 言

口伝え／回章／合図

三七九

二、 郵便と電話

三八一

手紙／電話の普及

三八二

第三節 交 易

一、 ムラのお店

三八三

道路ばたの店／ムラの中の店／団地内の店／ムラに来た行商

三八三

二、 商店街

三八六

料亭や置屋街／工場周辺のマチ

三八六

三、 新田中線と新商店街の誕生

三八九

新市街地の発展／もとのマチの活性化運動

三九一

四、 露天の商い

三九二

夜店／祭りの露天商／朝市／無人販売

三九五

第四節 下諏訪の観光

諏訪大社と周辺の整備／諏訪湖畔の景観／八島高原とあざみの歌

三九五

第六章 地域の慣行

第一節 ムラの発生と発展

四〇三

ムラの成立／新しいムラ

四〇七

第二節 共有財産

四〇九

山林原野の多い町／共有的減少／豊かに湧く温泉／独自の呼称の集会所

第三節 区制と町制 四一八

区制と区の役員／町の役員とその選出／寄り合い／制裁／共同作業

第四節 年齢集団 四三三

子供組／若者組／その他の集団

第七章 人の一生 四三一

第一節 出 産 四三二

一、 妊 娠 四三三

妊娠のしらせ／妊娠に関する俗信／つわり／帶祝／おたのみ

二、 出 産 四三七

出産／産後

第二節 子供から大人に 四五〇

一、 育 児 四五〇

初節供／虫封じ／誕生祝い

二、 子供の祝い 四五三

帶結びの祝い／袴着の儀式／七ツ坊主／帶とき／入学祝い

三、 成 人 四五五

禪祝い／腰巻き祝い／成人の日

第三節 婚 畏 四五六

一、 婚 畏 四五七

嫁入りと婿入り／結婚適齢期／下拵え／姉女房／聞き合わせ／見合い／仲人／手じめ酒／
第三節 同 婚礼の日取り／結納／結納品／婚礼の準備

二、 婚 礼 ···

見立て／婿入り／嫁入り道具／受け渡し／迎え道中／髪形／衣装／花嫁行列／入家と落ち
着き／式場／式の座席／挙式／献立／床入り／あとふき（後宴）／かねつけと髪なおし／
祝儀帳に見る祝いの品

三、 披露と里帰り ···

茶呼び／嫁開き／隣家回り／里帰り／親類回り／婿呼び・嫁呼び／仮り祝言・出入りぞめ
同／祝い水／しゃもじわたし

四、 離婚・再婚 ···

離婚と再婚／逆縁婚

第五節 厄年・年祝い ···

一、 厄 年 ···

厄年／厄払い

二、 年祝い ···

年祝い／結婚記念日

第六節 葬 送 ···

一、 死 亡 ···

死の予兆／臨終／死亡の通知／通夜／湯棺と納棺／門牌

二、 葬式の準備 ···

隣家とトウナカマ／葬式の準備／香典／葬式／喪服／出棺／葬列／引導場／埋葬／精進落
とし／火葬／子供の葬儀／墓

三、 供養 五〇三

川施餓鬼／お見舞い／七日／四十九日／新盆／アラミタマ／神詣りの遠慮／年忌供養

五〇七

第八章 家と同族

第一節 家族 五二〇

一、 家族 五二一

呼び方／家長と主婦／仮の親子

五一

家族の占領する場所

二、 囲炉裏の囲み方／部屋分け 五二二

三、 家長の座の相続 五二三

相続の機会／相続者／相続の呼び方と相続したもの

五一三

四、 主婦の座の継承 五一四

継承の機会／呼び方と譲るもの

五一四

五、 隠居 五一五

隠居の機会／隠居場所／隠居後の生計

五一五

第二節 本家と分家 五六六

一、 本家と分家 五六六

呼び方／つきあい

二、 分家の創設 五六七

分家の機会／分家の対象／財産分けと分家する場所

第三節 同族

一、同族

同族の呼び方／範囲／規模

二、機能・組織など

同族の祭り／祭りの時期と祭神／祭りの運営／祭りの費用／墓掃除

三、同族の共有物

墓地／祭具など／共有林

四、同族の変化

第九章 折々のもよおし

第一節 暮れの行事

御事八日／お松様はやし／煤掃き／冬至／お歳暮／松飾り／注連飾り／餅つき／鏡餅／年棚／暮勘定／アラミタマ／洗い出し／オミタマ／年取り／除夜の鐘／二年参り

第二節 正月の行事

大正月／お元日／若水／御門まわり／雑煮／学校の式（四方拝）／お年玉／初夢／仕事初め／御年始／初売り／エビスサマの年取り／蟹の年取り／七草叩き／七草粥／送り正月／お供え開き／お蔵開き／小正月／セエノカミ祭り／粥搔棒（粥杖）／ホンダレサマ／オメエダメ／箸／ナリキゼメ／大刀・小刀／弓・矢／ネギドノ／若餅つき／万物作／作道具の年取り／十四日年／オシンメヤキ／厄投げ／餅粥／年神様送り／お賽日／藪入り／お墓参り／山の神／ヨイエビス／二十日正月／六夜待ち／晦日正月

第三節 春の行事

五五九

節分／豆撒き／事八日／針供養／初午／蚕玉様の祭り／涅槃会／桃の節供／春の彼岸／春の社日参り／お花祭り

第四節 夏の行事

五六六

八十八夜／水口祭り／端午の節供／山の口／苗神様／ネエボコ祝い／両社参り／天王様／天神祭り／虫送り／陽気祭り／火祭り／土用丑

第五節 盆の行事

五七〇

高灯ろう／新盆／墓掃除／お施餓鬼／七夕／盆花採り／お盆／盆棚／仏様のおあしらえ／迎え火／百万遍／盆勘定／棚経／お賽日／盆送り／お墓参り／送り火／盆踊り／山の神祭り

第六節 秋・冬の行事

五七九

八朔／風祭り／十五夜／秋の社日／秋の彼岸／菊の節供／十三夜／とうかんや／蚕玉様／恵比寿講／二十三夜／秋祭り／金山講

第十章 まつる

五八五

第一節 諏訪大社の祭り

五八八

一、 式年造営御柱大祭

五八八

諏訪の御柱／御柱見立て／御柱の伐採／綱打ち／御柱曳行分担／山出し／里曳き

二、 式年造営大祭

六〇三

御宝殿の建て替え／新御宝殿への御遷座

三、 御柱祭出し物

六〇四

四、恒例大祭と特殊神事	長持ち行列／奉納騎馬行列
第一節 御頭郷御占いの神事／筒粥の神事／遷座祭／御作田社の田植え神事／夏越の祓／遷座祭／下社御射山祭	御頭郷御占いの神事／筒粥の神事／遷座祭／御作田社の田植え神事／夏越の祓／遷座祭／下社御射山祭
第二節 村のお宮やお寺さま	津島神社／若宮神社／武居恵美須神社／津島神社／伏見稻荷神社／一本柳神社／豊川稻荷社／天白社／米守神社／熊野神社／神明神社／星が丘諏訪神社
一、村の神社	二、お寺さま
第三節 民間信仰	慈雲禪寺／来迎寺／法泉寺／本願寺
第一節 しつけ	お薬師様／宝光院／行屋やお堂／道祖神／庚申講／二十三夜講／二十二夜講／山の神溝／その他の講
第二節 民間医療	六三九
第三節 占い・呪い	六五五
占いと呪い／夢占い／動物に関するもの／植物に関するもの／探し物に関するもの／災難	六六八

第十二章 芸能と遊び

避けに関するもの／暦に関するもの／方位に関するもの／雨の予兆／雷の予兆／風の予兆

六八五

第一節 御作田祭の田遊びと舞楽

田作りの儀／田舞

六八七

第二節 盆踊り

夏の楽しみ／エーヨー節

六九一

第三節 相撲

力士岩ヶ崎／御射山相撲

六九五

第四節 門付芸

主として正月に来たもの

六九七

三河万歳／春駒／獅子舞／千俵

二、季節を限らず來たもの

豆藏小僧／猿回し／バイオリン

六九八

第五節 子供の遊び

一、童ことば・口あそび

六九九

二、幼児の遊び

七〇〇

手遊び／入浴時の口遊び

七〇〇

三、鬼ごと

七〇〇

目かくし鬼／カクレンボ／草履かくし／せんざりぎつちょ

四、男の子の遊び

七〇一

五、女の子の遊び

七〇四

いろいろな遊び／まりつき／オテンコ／羽つき／祭りの楽しみ

第六節 冬を楽しむ

七〇八

諏訪湖の下駄スケート／秋宮スケートリンク／そり・スキー

第十三章 伝説と昔話

第一節 伝説

一、諏訪大社下社七不思議

七二二

御神渡り／筒粥神事／湯口の清濁／根入りの杉／御作田の早稻／浮島／御射山の三光

七二四

石仏・地蔵の伝説

七二八

鍛燒地藏／春宮の鳥居と万治の石仏／言いなり地蔵／茶くみ婆さん／隱岐のあごなし地蔵
／切られ地蔵／樋橋の延命地蔵／みそなめ地蔵／善心さま

七三一

石や岩の伝説

七三二

信玄の矢除石／和田義盛の刀石／いぼ石／ジジ穴・パパ穴

七三三

植物の伝説

七三七

尾掛松／神明の木／専女のけやき／苗間桜／天桂の松／むすびの杉／八島のカキツバタ

七三六

湯や水の伝説

七三九

綿の湯伝説／信玄のかくし湯／承知川／独鉛水／おちやばの清水／金明水
地名にまつわる伝説

七四〇

四王／捨大持／医王渡橋／回向坂／十五郎坂／でえらぼつち

七、その他の伝説

二ツ山の天狗／二ツ山刀利天狗／お茶壺道中／薩摩上人／万寿姫

第二節 昔 話

七四三

十二支の由来／笠地蔵／蚕の話／たかさときつね／法事のみやげときつね／そう吉ときつ
ね／鎌ヶ池の天狗／宮の上のむじな

第三節 昔の事件の話

七四五

和宮様のお通り／水戸浪士隊の通行／相樂総三と赤報隊

第十四章 方 言

七五三

第一節 長野県方言

七六三

一、長野県方言の位置

七六六

長野県の方言／長野県方言の位置

二、長野県方言の特徴

七六八

音韻／文法

三、長野県方言の区画と各地方言の概観

七七四

区画／各地方言の概観

第二節 下諏訪町方言

七七八

一、諏訪方言の位置と特徴

七七八

諏訪方言の位置／諏訪方言の特徴／諏訪方言の地域差／音韻／アクセント／文法／語彙

二、下諏訪町方言の性格

七八八

音韻／アクセント／語法・表現／水戸浪士隊の通行／相樂総三と赤報隊

第十五章 下諏訪の字名

第一節 里の字名

第二節 林野の字名

口絵・中扉解説

資料

下諏訪の方言集	八三七
鍊焼地蔵尊御縁起	八三九
下諏訪町の文化財	八八八
編纂委員会名簿	八八五
調査協力員名簿	九三三
話者・協力者名簿	九三四
写真・図・表目次	九三六
あとがき	八一七

索引

あとがき

題字

新
村
益
雄